



2025年6月29日
6月第五主日礼拝式

「主の御名(みな)を全地の上で」
(詩篇69:30)

主の御名を 全地の上で
あがめよう ほめたたえよう

心こめて 歌おう

心こめて 歌おう

Footprints

主とわたしで 歩いてきた この道

あしあとは ふたりぶん

でも いつのまにか ひとりぶんだけ

消えて なくなっていた

主よあなたはどこへ 行ってしまったのですか

わたしはここにいる あなたをおぶって

歩いてきたのだ

あなたは何も おそれなくて良い

わたしが とともにいるから

新聖歌420番 「雨を降り注ぎ」

- 1 雨を降り注ぎ 恵みたもうと
神は愛をもて 誓(ちか)いたまえり
* 夕立(ゆうだち)のごと 天(あま)つ恵みを
イエスよ今ここに 注ぎたまえや
- 2 雨を降り注ぎ 強き音もて
眠る民(たみ)の目を さましたまえや 【*】
- 3 雨を降り注ぎ 神のことばの
変わりなきことを しめしたまえや 【*】
- 4 雨を降り注ぎ ひとりびとりに
くしき汝(な)がわざを 見させたまえや 【*】
アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌171番 「今日まで守られ」

- 1 今日まで守られ 来たりしわが身
露(つゆ)だに憂(うれ)えじ 行くすえなどは
いかなる折(お)りにも 愛なる神は
すべての事をば 善(よ)きにしたまわん
- 2 か弱き者をも かえりみたもう
わが主の恵みは この身にたれり
賑(にぎ)おう里(さと)にも 寂しき野にも
主の手にすがりて 喜び進まん
- 3 主の日ぞいよいよ まぢかに迫る うきよの旅路も
しばしの間(ま)のみ 間もなく栄えの みくにに行きて
永遠(ときわ)にたえせず わが主と住まわん アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌62番 「天(あま)つみ民も」

天(あま)つ み民も

地にある者も

父 子 御霊(みたま)の神をたたえよ

神をたたえよ

アーメン